



夫婦そろって100歳に

東和町南川目の菊池利夫さんが1月29日、100歳の誕生日を迎え、市からお祝いとして花束や記念品が贈呈されました。昨年5月に100歳になった妻のヨリさんと夫婦そろって大台に到達。利夫さんは「これまで生きられるとは、自分でもびっくりしている。皆さんののおかげです」と喜び、ヨリさんは「ただただ、ありがとうございます」と感謝しました。当日は、家族や親戚の皆さんが自宅に集まり、二人の未永い健康と長寿を盛大に祝いました。



二人そろって100歳になり、祝福を受ける菊池利夫さん、ヨリさん夫婦

大人の仲間入りを祝う

障がいのある子どもを保護者で組織する花巻市手をつなぐ育成会とボランティアグループあおぞらは2月2日、ホテル花城で「第4回成人を祝う集い」を開きました。今回は、1992年4月2日、94年4月1日生まれの人9人が出席。家族や関係者など約100人が見守る中、9人がそれぞれ祝成人と書かれた色紙に記念の手形を押したほか、大人の仲間入りを祝い、ワインを口に運びました。このほか、祝いの踊りなども披露され、式典に花を添えました。



スーツを汚さないように、かっぽう着を身に付けて手形を押す新成人

氷上で熱戦 長靴アイスホッケー

「第16回長ぐつアイスホッケー大会」が2月2日、石鳥谷アイスアリーナで開催されました。長靴にスティックを持ってリンクに張られた氷の上を駆け回る同競技。石鳥谷地域の7地区から約80人が参加し、地区対抗リーグ戦で熱戦を繰り広げました。選手たちは、ツルツルと滑る足元に苦戦しながらも、懸命にボールを追いかけ、白熱した攻防を展開。転倒したり、選手同士激しくぶつかったりする姿も見られ、応援席から大きな声援が上がっていました。



長ぐつアイスホッケー大会で、熱戦を繰り広げる選手たち

地域の宝 火災から守れ

文化財防衛訓練が1月19日、文化財防火デー(26日)を前に、市内4カ所の神社やお寺で実施されました。このうち石鳥谷町好地の熊野神社で行われた訓練には、地元の第12分団の消防団員をはじめ、花巻北消防署、婦人消防協力隊、神社関係者など約110人が参加。地震で石油ストーブが転倒し出火したとの想定で、119番通報、初期消火、重要物品搬出、救護、応急給食など、一連の訓練を行いました。参加者は、地元の貴重な文化財を守るため、防火の心構えを新たにしていました。



機敏な動作で火災防衛訓練に取り組む消防団員の皆さん

スイスへの理解深める

花巻国際交流協会が主催の多文化サロン「スイスのくらしを知ろう」が2月1日、花巻市交流会館で行われました。この催しは、ことし、日本とスイスの国交樹立150周年を迎えることにちなんで開催したもの。市内在住のスイス人、ミヒエル・ペーターさんと妻の和子さんが講師を務めました。参加者の皆さんは、スイス特産のチーズを使った家庭料理作りを体験したほか、暮らしについて学習。日本と友好関係を築いてきたスイスへの理解を深めました。



ミヒエル・ペーターさん(右から2人目)が講師を務めたスイスの家庭料理作り

楽しく笑顔で国際交流

東日本大震災の被災地の子どもたちを応援する「あそびプラスOne」が1月17日、文化会館で開催され、花巻学童クラブの子どもたちが、国際交流プログラムを通じて、外国文化に触れました。当日は、若葉小学校の1、4年生の児童66人が、詩の群読や合唱などで韓国と台湾、フランス、日本のボランティア6人を歓迎。韓国版「だるまさんがころんだ」などの遊びを一緒に体験しました。会場には、楽しく触れ合う子どもたちの笑顔があふれていました。



中国語で「じゃんけん列車」に挑戦する子どもたち